

JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT

AMEDシーズアクセラレーションピッチ

AMEDとMEDISOが推薦するシーズをピッチ形式で紹介し。各事業担当者がシーズに対する応援演説を行うとともに、モデレータやAMED認定VCがシーズの実用化・事業推進に向けたアドバイスやコメントを提供します。

開催日時

令和8年10月7日(水) 13:30~17:00

開催場所

パシフィコ横浜 JHVSメインステージ

時間	内容	登壇・発表
13:30	開会挨拶	・日本医療研究開発機構 理事長 中釜 斉 ・内閣府健康・医療戦略推進事務局長 鳥井 陽一氏 ・経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長 山室 芳剛氏 ・JPモルガン証券株式会社 投資銀行本部 投資銀行部 事業法人グループ マネジングディレクター 善積 大祐氏
13:55	ピッチ 【第1部】	プレゼンター：紹介欄参照
14:25	ピッチ 【第2部】	モデレータ： ・Remiges Ventures, Inc. マネージング・パートナー 稲葉 太郎 ・(一般社団法人)LINK-J 常務理事 高橋 俊一
14:55	休憩	・(一般社団法人)LINK-J 参事 竹内 雅博 ・日本医療研究開発機構 調整役 下田 裕和 ・日本医療研究開発機構 創薬エコシステム推進事業部 部長 内田 隆
15:00	ピッチ 【第3部】	コメンテータ： AMED認定ベンチャーキャピタル
15:40	ピッチ 【第4部】	
16:20	交流会	—

ピッチ登壇者紹介

第1部

名古屋大学



間葉系幹細胞(MSC)の「伝える力」が拓く次世代再生治療

アンメットニーズの高い疾患を起点に、MSCの再生シグナルを活用した治療法を開発する。炎症性疾患全般への展開を見据え、独自性、量産性、知財優位性、市場性を軸に、早期事業化と世界展開に向けた成長戦略を描く。

Sharkey Technologies



サメ由来「世界一小さい抗体」が拓く創薬イノベーション

独自開発したサメ由来の「世界最小抗体」は、従来の抗体医薬の常識と限界を打破する革新的なモダリティです。現在、注射不要の非侵襲投与と副作用の最小化を目指し、安全な次世代抗がん剤の開発を進めています。

群馬医療福祉大学



SKM9-2を基盤とした中皮腫標的 α 線治療の開発

診断ガイドライン収載の抗中皮腫抗体SKM9-2を基盤に、高い中皮腫特異性と α 線核種による強力な抗腫瘍効果を組み合わせ、予後不良な中皮腫の克服を目指し、臨床試験に向けた開発を進めています。

第2部

京都大学/藤田医科大学/リバーセル株式会社



治験申請準備段階 ～他家再生キラーT細胞を用いたTCR-T細胞療法のがん治療に向けた開発～

iPS細胞から、がんやウイルスを攻撃する細胞を作り出し、その細胞を薬として使う治療法を開発しています。患者さんの負担を軽減し、誰にでも、すぐに、点滴で治療法を提供できる、「他家超汎用性キラーT細胞療法」という新しい治療法を開発しています。

国立がん研究センター



腸内細菌が拓く、がん免疫療法の新たな可能性—YB328の製剤化と臨床展開

免疫チェックポイント阻害薬の治療効果を高める腸内細菌YB328の単離・培養に成功し、その作用機序を解明した。本講演では、新たながん治療への展開を見据えたYB328の可能性と製剤化に向けた取り組みを紹介する。

株式会社アンチキャンサーテクノロジズ/東京科学大学



難治性がんを根絶するための新規代謝阻害剤の研究開発

われわれは次世代プロテオミクス技術を用いて難治性がんにおける代謝ボトルネックを発見し、その阻害化合物を取得した。この化合物はマウス実験にて難治性がんを完全に消滅させる強力な薬効を有しながら、毒性は極めて低い。2年以内に第一相試験に進む計画である。

ピッチ登壇者紹介

第3部

山口大学



新規纖毛膜操作技術による多発性嚢胞腎の克服

一次纖毛ーベルオキシソーム間接着の増強により、纖毛膜へのコレステロールとポリシスチンの局在を改善する新規作用機序に基づく多発性嚢胞腎治療薬を開発と事業化を目指す。

東京科学大学



PhenoBoost™:細胞内抗体デリバリーで突破する、がん治療

疾患標的の70%が存在する細胞内へ、独自技術「PhenoBoost™」で抗体を送達。従来の抗体医薬が届かなかった標的へアプローチし、アンメットメディカルニーズの高いがん治療の限界を突破します。

株式会社アンパメトリー/横浜市立大学



脳内AMPA容体を可視化するAMPA-PET—精神疾患診断の社会実装—

ヒト生体脳のAMPA受容体を可視化する独自PET技術を開発した。うつ病・双極性障害の鑑別診断を目指す治験計画と、疾患横断的な診断・創薬支援、大学発ベンチャーAmpametryによる事業化を紹介する。

筑波大学/TNAX Biopharma株式会社



急性腎障害に対するエフェロサイトーシス促進抗体医薬の開発

急性腎障害(AKI)は、CKDへの移行や死亡につながるアンメットニーズの高い疾患である。本研究では、死細胞貪食(エフェロサイトーシス)を促進するCD300Aに対するヒト化中和抗体を開発し、AKIの治療・CKD進展抑制に向けた非臨床試験と臨床試験開始準備を進める。

第4部

東京科学大学



ガドリニウムフリー単一高分子ミセル型MRI造影剤に関する研究開発

単一高分子が『自己折り畳み』する新技術により、現行の医療用MRI造影剤の7~12倍の性能(緩和能)を持つナノ粒子造影剤を開発した。これらは、人体や環境への懸念があるガドリニウム(Gd)を使用しない機能性MRI造影剤であり、早期の臨床展開が望まれている。

ZeitBio Therapeutics株式会社



睡眠相前進型概日リズム睡眠障害治療薬の開発

時間生物学に基づき、生体リズム異常を是正する治療薬を開発しています。早朝覚醒を対象に、独自の低分子化合物で未充足医療ニーズに挑み、新たな治療パラダイムの創出を目指しています。

愛媛大学/株式会社HBNET



B型肝炎の根絶的治療を目指した次世代型経鼻治療ワクチン HBNET-369

B型肝炎の機能的治癒を実現する経鼻投与の治療ワクチンとして、HBNET-369を開発し、ウイルス特異的な免疫反応を生じ、B型肝炎に対して根絶的治療が可能である。来年度に第I相臨床試験を予定している。